

OpenAI Deep Research

了解しました。日本企業の知的財産部門における最新の生成 AI 活用事例について調査します。

具体的には、特許調査、技術文書作成、契約書作成、知財分析などの幅広い活用分野を対象とし、使用されている生成 AI 技術 (ChatGPT、BERT、Claude など) にも焦点を当てます。

調査が完了次第、ご報告します。

特許調査への生成 AI 活用事例

背景と課題: 日本企業の知財部門では、膨大な特許文献の調査に多大な時間を要してきました。従来のキーワード検索では関連特許の網羅や要点把握に限界があり、専門家でないと「隠れた技術や応用のヒント」を見落としがちでした ()。

活用内容: 2023 年以降、ChatGPT など生成 AI を特許調査に取り入れる動きが進んでいます。ある知財担当者は、オールソリッド電池関連の特許 129 件について、特許公報の要約や課題・解決手段の項目を抽出し、GPT-4 に要約生成させる試みを報告しました ()。具体的には、各特許の要約欄だけを Excel からコピーし、10 件ずつ ChatGPT に投入して主要ポイントを要約させることで、短時間で大量の特許のエッセンスを把握しています ()。これにより、重要な文献に絞り込んで詳細検討する効率が格段に向上しました。

導入効果: 生成 AI は特許特有の難解な文体から課題や解決策のパターンを抽出するのが得意で、人間の直感にない新たな視点も提供します ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。上記の要約活用により、「特許調査にかかる時間が大幅短縮され、商用の特許解析ツール並みの分析が安価に実現できた」ことが示されています ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。特許調査の初期段階で生成 AI が関連文献の概要を提示してくれるため、担当者は重要度の高い特許に素早く当たりを付けることができるようになりました。

今後の展望: 特許庁や企業でも、BERT ベースのモデルによる意味検索や文章類似度分析の導入が進んでおり、生成 AI との連携で調査精度が一段と向上すると期待されています。実務者からは「ChatGPT は大量の知財情報を迅速に解析でき、IP ランドスケープ分析の精度向上が期待できる」との声もあります ()

[における ChatGPT の活用](#))。一方で「AI の論理には限界があり、人間の洞察との協働が不可欠」と指摘されており ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))、今後は生成 AI と専門家が協力して調査を行う体制が主流になるでしょう。各社は社内の非公開情報も安全に活用できる専用環境の構築を模索しており ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))、より高度かつセキュアな特許調査 DX が進展すると見込まれます。

技術文書作成(特許明細書等)への生成 AI 活用事例

背景と課題: 発明提案から特許明細書を起案したり、出願依頼書を作成したりする業務は専門知識と時間を要するため、知財部門の大きな負担でした。例えば社内発明の明細書ドラフト作成や、特許事務所への依頼文を書く作業は、1 件あたり 10~20 時間かかることも珍しくありません ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#))。少人数で多数の発明を扱う企業では、明細書作成の負荷軽減と質の確保が課題となっていました。

活用内容: 2023 年以降、生成 AI を「文章作成アシスタント」として活用し、この課題解決に挑む事例が現れています。スタートアップの SmartIP 社は、社内開発した明細書作成クラウド「appia-engine」に生成 AI 機能を導入しました ()。発明提案書の入力情報をもとに、**特許明細書のたたき台(ドラフト)を自動生成**する仕組みで、技術分野や背景技術、課題、解決手段など明細書の前半部分(約 20 段落)をボタン一つで出力します ()。従来 10 分~1 時間かかっていたドラフト作成が瞬時に完了し、書き手は生成結果をベースに詳細を肉付けするだけで済みます。また別の企業事例では、Tokkyo.Ai 社の提供する ChatGPT-4 ベースのツール「生成 AI Plus」を使い、**弁理士への特許出願依頼文書を自動生成**する取り組みが報告されました ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#)) ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#))。このツールは生成 AI による文章作成に加え、関連する**類似特許の自動検索機能**(AI 特許検索)を備えており、高精度なドラフト作成を実現しています ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇](#)

[気と希望を](#))。実際に発明のキーワードから関連特許を AI が抽出し、その内容を参照しながら依頼文を作成できるため、より網羅的で質の高い文書が得られます。

導入効果: SmartIP 社の湯浅代表によれば、生成 AI 活用により「**明細書ドラフティングの時間短縮とクオリティ向上が実現**」しています ()。appia-engine 導入企業では、明細書初稿作成に費やす時間が大幅圧縮され、特許出願までのスピードアップにつながりました。Tokkyo.Ai の事例でも、従来 15 時間程度かかっていた出願依頼書作成 + 簡易調査が **1~2 時間以内で完了**し、約 90%の時間削減を達成しています ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#)) ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#))。知財部員は「AI ツールにより依頼文作成が迅速かつ正確になり、業務負担が大幅に軽減された」とコメントしており ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#))、浮いた時間を発明の付加価値検討や戦略立案に振り向けています。生成 AI が下書きを担い人間がブラッシュアップするワークフローにより、文章品質も安定しつつあるようです。

今後の展望: 技術文書作成への生成 AI 活用は今後さらに広がる見通しです。まず、ChatGPT や Claude など複数の高度な LLM を使い分けることで、専門分野ごとに最適な文書生成が可能になるでしょう。例えば理化学系の明細書は Claude を用いて厳密な表現を生成し、機械系は GPT-4 でバランスよくドラフトするといった活用も考えられます。社内機密保持の観点から、**オンプレミス型の専用生成 AI** を構築する動きも予想されます ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。実際、「自社データで学習させた生成 AI を内部で安全に使いたい」というニーズが高まっており ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))、ベンダー各社はセキュアな企業向け生成 AI サービス (例: ChatGPT Enterprise 版など) の提供を進めています。今後は生成 AI が**明細書全文をドラフト→担当者が修正**という形で、発明届出から出願書類完成までのリードタイムが飛躍的に短縮されることが期待されます。ただし自動生成されたクレーム (特許請求の範囲) の法的妥当性チェックなど、人間の最終確認は不可欠であり、AI と人の協働による質の担保が引き続き重要です。

契約書作成への生成 AI 活用事例

背景と課題: 知財部門ではライセンス契約や秘密保持契約(NDA)など各種契約書の作成・レビューも重要業務です。契約書はひな型があっても個別交渉内容に応じた修正が必要で、リーガルチェック含め時間を要します。契約審査では条項の抜け漏れや自社に不利な文言の見落としリスクもあり、法務・知財担当者の負担が大きい分野でした。

活用内容: 2023 年以降、生成 AI を用いた契約書作成支援ツールが登場し始めました。例えばリーガルテック企業の LegalOn Technologies は、自社の契約管理クラウドに生成 AI チャットボット機能「LegalOn アシスタント(β 版)」を搭載しました ([生成 AI を活用した機能を海外拠点から逆輸入。リーガルテックならではの開発で法務業務を支える | LegalOn Now](#))。ユーザーが契約書ファイルをアップロードすると、その内容について「重要ポイントを要約して」「専門用語の意味を説明して」「改訂前後の差分をまとめて」といった対話型の指示を出せます ([生成 AI を活用した機能を海外拠点から逆輸入。リーガルテックならではの開発で法務業務を支える | LegalOn Now](#)) ([生成 AI を活用した機能を海外拠点から逆輸入。リーガルテックならではの開発で法務業務を支える | LegalOn Now](#))。生成 AI がまるで実在の法務アシスタントのように契約書の内容把握を手助けしてくれるため、契約レビューにかかる工数が削減されます。また他社の事例では、ChatGPT に自社の取引条件を入力し基本契約書のドラフトを一から生成させるケースも見られます。ドラフト生成後に法務担当者が細部を修正・チェックすることで、ゼロから自分で書くより速く標準契約書が作れると報告されています (生成 AI 活用セミナーでの事例紹介 ([【特別企画セミナー】特許調査 × ChatGPT ～知財業務への生成 AI の活用～開催のお知らせ ♡ | WEB 会議で全国から無料相談受付中!特許・商標・意匠・実用新案なら弁理士のたかやま特許商標事務所](#)))。さらに、契約書 AI レビューサービスの導入も加速しており、たとえば LegalOn 社の「LegalOn Review」や LeCHECK といったサービスは数千社規模で導入され、自動リスク検出機能とあわせて契約業務を効率化しています ([AI 契約書チェックサービスおすすめ 6 選! ChatGPT による ... - WEEL](#))。

導入効果: 生成 AI による契約書作成支援で、ドラフト作成とチェックの時間が大幅短縮されています。ChatGPT を用いた契約ドラフトではタイポミスが激減し、条項漏れもテンプレートベースで防げるため初稿の完成度が向上するとされています ([【最新】弁護士業務における生成 AI 活用方法を徹底解説! ChatGPT ...](#))。実際、ある企業法務担当者は「ChatGPT で基本契約書のたたき台を作り、人手で微調整することで作成時間を半分以下に圧縮できた」とコメントしています (セミナー事例より)。LegalOn アシスタントのような要約 AI により、契約書レビューでは重要な変更点やリスク箇所を瞬時に把握できるようになりました ([生成 AI を活用した機能を海外拠点から逆輸入。リーガルテックならではの開発で法務業務を支える | LegalOn Now](#)) ([生成 AI を活用](#)

[した機能を海外拠点から逆輸入。リーガルテックならではの開発で法務業務を支える | LegalOn Now](#))。これにより、担当者は細かな全文読解に費やす時間を削減し、交渉戦略やリスク判断といった付加価値の高い業務に注力できています。また、AI 契約チェックツールを併用することで人為ミスの低減やレビュー漏れ防止にもつながり、結果的に契約業務全体の精度向上が報告されています。

今後の展望: 契約書作成分野では、今後ますます生成 AI とのハイブリッド作業が一般化すると考えられます。2023 年に法務省から AI 契約審査に関するガイドラインも公表され ([法務省がガイドラインを公表！AI 活用で契約書レビューはどう変わる？](#))、適切に人間が関与すれば弁護士法等に抵触しない範囲で AI を活用できる道筋が示されました。これを受け、大企業を中心に社内ガバナンスを整備した上で ChatGPT Enterprise 版の導入検討が進むでしょう。将来的には、日本語に強い LLM や各社の契約データを学習したカスタムモデルを用いて、契約ドラフトから差分チェック、リスクコメント挿入まで一貫して AI が行うプラットフォームが登場する可能性もあります。Claude のような別の生成 AI も、長文処理能力を活かして複雑な契約の分析に投入されるかもしれません。もっとも最終的な契約リスクの判断や意思決定は経営・法務の責任領域であり、AI が提示した内容を人間が検証・承認するプロセスは不可欠です。人間と AI の二重チェック体制で、契約業務の精度とスピードの両立が今後一層図られていくでしょう。

知財分析(IP ランドスケープ等)への生成 AI 活用事例

背景と課題: 自社および競合の知的財産を分析し、事業戦略に活かす「IP ランドスケープ」は近年重視されています。ところが、特許や論文など構造化されていないビッグデータを人手で分析するのは困難で、専用の高額な分析ツールに頼るケースが多くありました。限られた情報から洞察を得る従来手法では、分析担当者の主観に偏りが出たり、新興プレイヤーの見落としといった課題も指摘されていました。

活用内容: 生成 AI はこの分野でもデータ駆動型の分析を促進すると期待されています。オムロン株式会社 知財本部の熊巳創氏は 2023 年、「ChatGPT を先駆けとして AI による IP ランドスケープ分析が進みつつある」と述べています ([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。実際に、特許データベースから大量の特許情報をダウンロードし、ChatGPT とプラグイン (Noteable 等) を組み合わせて解析する試みも行われました (

商用特許解析ツールと遜色ない分析(技術動向や主要プレイヤーの抽出など)が比較的 low コストで可能になることが示されています([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。具体例として、生成 AI に競合各社の特許ポートフォリオ要約を作成させ、どの技術領域に強みを持つかを短時間でマッピングするといった活用法があります。ChatGPT のような生成 AI は、大量の公開情報から人間では見落とすような相関関係を見いだすことにも優れており、「ダークホース的な競合を炙り出す」のに貢献したという報告もあります([話題の生成 AI について IP ランドスケープで炙り出した主要プレイヤー](#))(生成 AI で主要プレイヤーを特定した事例)。また、特許・文献情報のみならず市場データや製品情報など異種データを取り込み、横断的な分析レポートを自動生成する実験も進んでいます。

導入効果: 生成 AI 活用により、今まで数週間かかっていた知財分析レポート作成が数日に短縮されるなどスピード面で大きな効果が出ています。AI は関連データのパターン認識が得意なため、新規参入企業の台頭や技術シフトの兆しを早期に捉えることができます([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。専門家の経験に頼っていた洞察も、AI の網羅的な分析によって裏付けを得ることで説得力が増すという利点があります。熊巳氏も「ChatGPT は人間の経験や直感にはない新たな視点を提供する」と指摘しており([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))、実際に人間では気づきにくかった技術トレンドを AI が示唆したケースが出てきています。さらに、社内の蓄積ナレッジ(例えば過去の発明提案や市場レポート)と公開特許データを組み合わせることで、より自社戦略に直結した深い考察が可能になりつつあります。

今後の展望: 知財分析分野では、生成 AI を組み込んだ社内データ分析基盤の構築がカギになると見られます([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。社外秘情報も含め自社に最適化したモデルを訓練し活用できる企業は、より精度の高いランドスケープ分析で競争優位に立てるでしょう([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。一方、現状の生成 AI の洞察力には限界もあり、「科学的な論理展開や批判的思考の再現は難しい」とも言われます([IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用](#))。したがって今後も人間の戦略思考と AI のデータ解析力の融合が重要です。将来的には、ChatGPT や Claude の次世代モデルがより高度な論理推論や因果関係分析を備え、知財戦略立案を自動でサポートする可能性もあります。例えば、「自社の特許ポートフォリオの弱点を洗い出し、どの技術を強化すべきか AI が提案する」といったことが現実味を帯びてきています。しかし最終的な経営判断は人間が行う必要があり、AI の提案を検証・補完する形で使うことが望ましいでしょう。知財専門家の間でも「ChatGPT と人間が協力し、お互いの長所を生かすことでより高品質な分析が可能になる」(

が広がっており、今後は生成 AI を味方につけた知財戦略策定が一般化していくと考えられます。

参考文献・情報源: 最新の事例についてはデジタルシフトタイムズの解説（[『知財生成 AI 活用例』特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#)）（[『知財生成 AI 活用例』特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#)）や知財専門家によるセミナー資料（[知財コンサル企業のブログ記事 \(IP ランドスケープ分析における ChatGPT の活用\)](#)）などを参照しました。上述の事例はいずれも日本国内で実践され始めた取り組みであり、知的財産業務における生成 AI 活用の潮流を示すものです。各社が試行錯誤する中で蓄積された知見は今後さらに共有・発展し、知財部門の DX と価値創出に寄与していくでしょう。（[『知財生成 AI 活用例』特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ - Digital Shift Times\(デジタル シフト タイムズ\) その変革に勇気と希望を](#)）